



【JA 共済連北海道本部】 交通安全ポスターコンクールは毎年の楽しみ

全国共済農業協同組合連合会北海道本部(JA 共済連北海道本部)

JA 共済は組合員・地域の皆さまの暮らしのパートナーとして、「ひと・いえ・くるま」をキーワードに毎日の生活を大きくサポートいたします。自動車共済事業もあり、自治体や道警察、交通安全団体とのタイアップにより、様々な交通安全の取組を展開しています。

◆50回目を迎えた「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」

北海道の交通事故死亡者数のピークは昭和46年の889人。交通戦争とまでいわれたこの頃、JA 共済連北海道本部では、交通事故を1件でも減らしたいとの強い思いから、昭和49年、「交通安全ポスターコンクール」をスタートさせ、令和5年には50回を迎えました。毎年、全道の小中学生から2000点前後の素晴らしい作品が寄せられ、審査委員のみなさんも大いに悩むと聞きます。



自転車にはヘルメットをかぶることや、飲酒運転の根絶など、様々なテーマを子どもたちが考え、一生懸命描いてくれるその作品の一つひとつが、思いやりあふれるやさしい社会の実現につながります。

北海道の入賞作品は全国コンクールでも審査され、令和4年には小学校2年生部門で土幌小学校の児童が最高賞の内閣特命担当大臣賞を受賞するうれしいニュースもありました。

毎年、北海道における夏と冬の交通安全運動期間には、啓発チラシやポスターに入賞作品が採用され、全道の皆さんに交通安全を訴えてくれます。



令和5年夏の交通安全運動ポスター



令和5年冬の交通安全運動ポスター



「令和4年全国小・中学生交通安全ポスターコンクール」内閣特命担当大臣賞を受賞した作品



◆やべーべや三角フラッグやミニのぼり旗

飲酒運転根絶アンバサダーに就任している北海道弁 PR キャラクターの「やべーべや」。JA 共済連北海道本部では令和3年に道内をバイクで巡るライダーの皆さんに交通安全を呼びかける「三角フラッグ」に「やべーべや」を起用。道交通安全推進委員会に4色・3万本が贈呈され、道内の市町村での啓発に活用されました。三角フラッグには、やべーべやが「ゆっくり走るべや北海道」と呼び掛けており、フェリーターミナルや道の駅などで受け取ったライダーのみなさんは早速バイクに取り付け、安全運転で北海道を駆け巡りました。長年にわたり北海道の安全を守ってきたハーレー警ら隊（令和5年11月解散）の皆さんのバイクにもいつもつけていただいていたました。



また、「飲酒運転根絶」のミニのぼり旗も道交通安全推進委員会とコラボで制作。全道各地の飲食店や各施設に置かれています。

このほか、北海道警察や北海道交通安全協会とのコラボにより、ポスターや啓発品の制作も行っており、特に、全道の小学1年生・2年生・3年生全員に配布している交通安全の小冊子は、子どもたちの命を守る大切な取組です。

◆迫力満点！スタントマン実演による自転車安全教室

JA 共済連北海道では自治体や警察署などと協力し、全道各地の中学校・高校で、スタントマンによる事故の再現を交えた自転車交通安全教室（スケアード・ストレイト）を開催しています。

スマホを操作しながらの自転車走行や、2人乗りなどにより、自動車にはねられるなど、事故の再現シーンでは、激しい音や事故の衝撃に、生徒たちからは悲鳴も！

交通事故の悲惨さを伝え、ルールを守ることが自分や大切な人の命を守ることにつながることを、しっかりと知ってほしい、という願いが込められています。この取組は、年間8回程度、開催されています。



◆交通事故の減少に向けて

このほか、全国共済農業協同組合連合会では、幼児向け「アンパンマン交通安全キャラバン」やシルバー向けの「交通安全落語」など世代に応じた企画も満載。シミュレーターを搭載した自転車安全診断車、自動車安全診断車の貸出、自転車運転時のヘルメット着用促進動画や電動キックボードに関する動画を YouTube チャンネルで公開するなど、交通事故を減らすための様々な取組を提供しています。

#交通安全全般 #啓発活動 #子ども



公式サイト



YouTube チャンネル